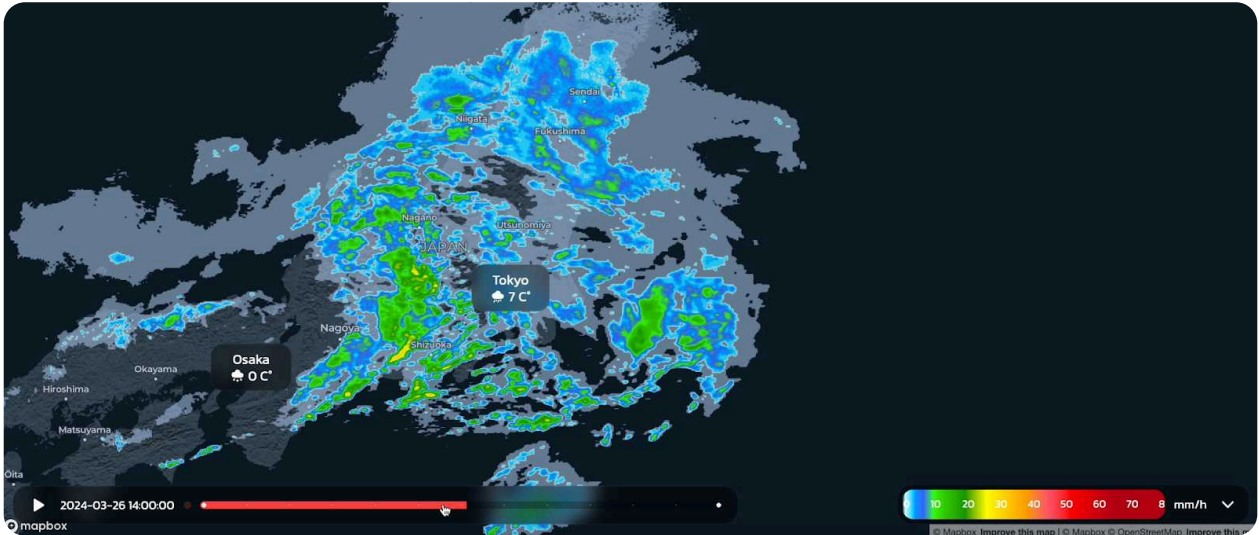


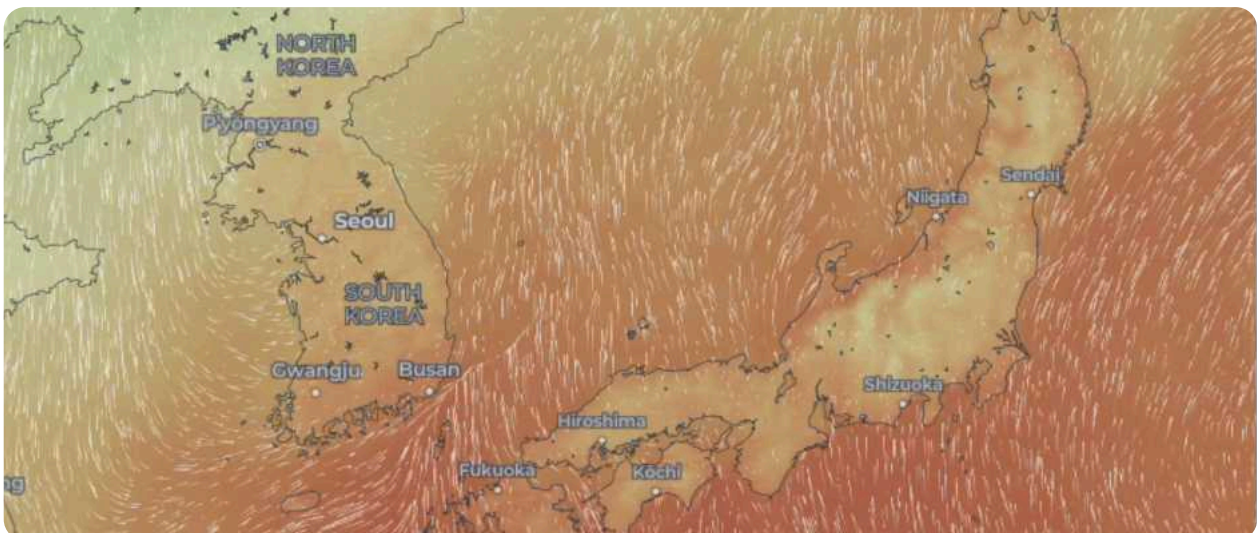
マップボックス、気象データの調達、解析、変換が不要 リアルタイム気象データを地図上で視覚的に再現する Mapbox Weather Service を開発

天気予報、防災、レジャー分野のほかマーケティングにも利用可能に

デジタル地図・位置情報プラットフォームのリーディングカンパニーであるマップボックス・ジャパン合同会社（以下、マップボックス）は、雨・風等のリアルタイムの気象データを配する新サービス「Mapbox Weather Service」（以下、MWS）のベータ版を発表しました。気象データは地図表示可能な形式で配されるため、気象データ解析の専門知識がない方でも気軽に利用可能です。本サービスは、天気予報、防災、マーケティング、ジャーなど幅広い分野で利用することができます



気象庁の短時間降水予報データ（高解像度降水ナウキャスト）を Mapbox Weather Service で配した際のイメージ



気象庁の風予報データ（メソ数値予報モデル風要素）を Mapbox Weather Service で配した際のイメージ

✓ 気象データの地図表現の現状

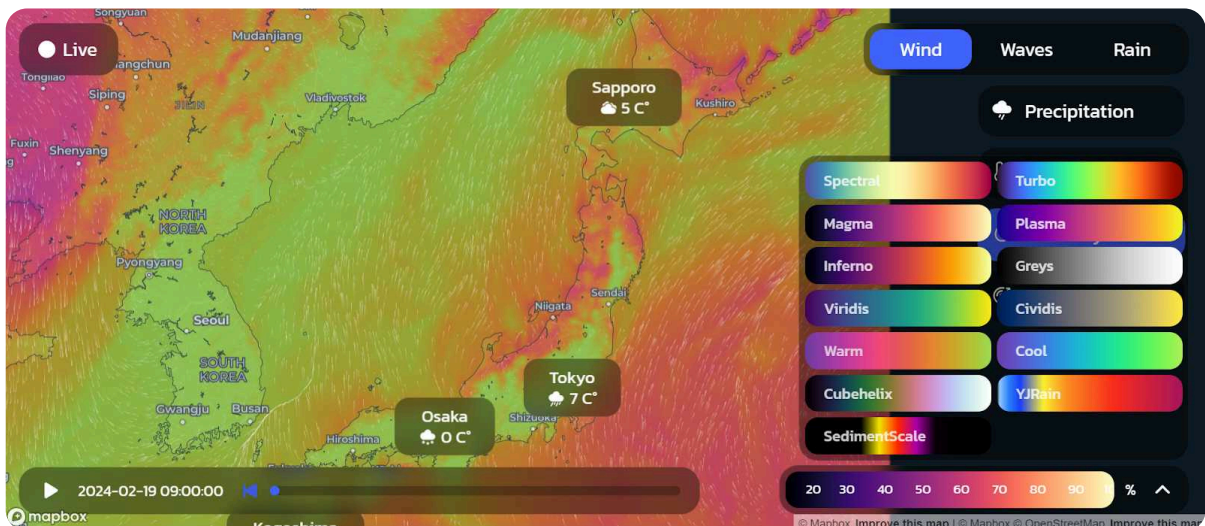
デジタル地図上に、雨や風向きといった気象情報を、リアルタイムあるいは数分後～数日後の予報として視覚的に再現できるツールには、雨雲レーダーの機能を持つサービスやモバイルアプリがあります。こうした能は通常、気象庁や民間の気象会社が生成した気象データを利用しますが、そのデータはGRIB2と呼ばれる特殊な形式で構成されており、そのままでは地図表示できないため、専門知識を持った技術者による解析とデータ変換が必要になります。また、気象データは絶え間なく更新されるため、GRIB2形式のデータの変換にも膨大な手間とランニングコストがかかります。デジタル地図上にリアルタイムの気象情報を視覚的に再現するには、こうした知識・手間・コストの問題が大きな導入障壁となっていました。マップボックスが開発したMWSは、このような導入障壁を取り払い、気象データを誰でも使いやすく見やすい形で提供することで、天気分野に限らない気象データの広範囲での活用に貢献します。

✓ 解析、変換不要でリアルタイムの気象情報を表示

MWSでは、これまで地図上に表現するために解析とデータ変換が必要だった気象データを、直接Mapbox上で視覚的に表示することが可能になります。そのため、「気象データの調達」「気象データの解析」「気象データの変換」といった煩雑な手順を踏むことなく、自社のサービスやプラットフォーム上で、デジタル地図に即座にリアルタイムの気象情報を表示することができるようになります。MWSで表示することのできる気象データは、雨雲、雷、風向きのほか、波・海流・海面／地表温度、気圧等です。また、指定の時刻・度経度の気象データAPIも提供予定です。

✓ 美しいビジュアルとスムーズな動作

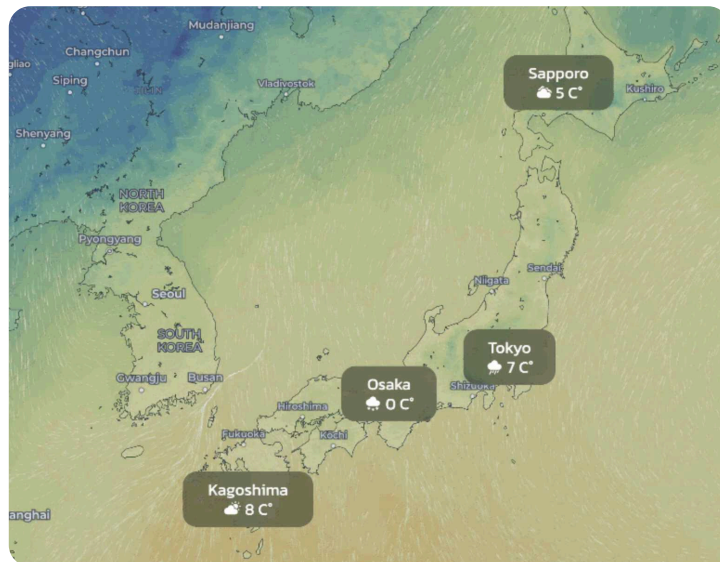
MWSの大きな特徴として、Mapboxの柔軟なカスタマイズ性により可能となる、自由なカラリングと美しく軽快なビジュアルエフェクトが挙げられます。これによって、色を自在に組み合わせたオリジナリティのあるデザインや、雨雲や低気圧の接近を臨場感をもったアニメーションで表現することが可能になります。Mapboxの優れたレンダリング技術により、複雑なアニメーションを表現しながらも、ズームイン・ズームアウト等の動作は非常にスムーズです。さらに、Mapboxは大規模なアクセスを前提とした非常に堅牢なインフラを備えているため、アクセス集中が想定される災害発生時でも動作に支障が出ることはありません



✔ Mapbox Weather Serviceで可能になること

MWSを導入すると、気象データ解析の専門知識やデータ変換の手間不要で、即座にデジタル地図上に気象情報を表示できるようになります。これによって、例えば天気・気象分野に限らず、災害・防災ツール、ゴルフやサーフィン等の屋外レジャーを扱うサービスにおいて、その日の雨雲や風向き、波の高さといった気象情報をわかりやすいアニメーションで見せることができます。さらには、降水量と客数・売上予測を結び付けたり、気温の変化で特定商品の仕入れ量を調整するなど、複雑な解析を必要とせずに気象データをマーケティングに活用することもできます。

MWSは、今後も順次ブラッシュアップとアップデートを加えていく予定です。ご要望に応じたカスタマイズも可能ですので、見積もり等詳細については、マップボックスにお問い合わせください。



Mapboxについて

Mapboxはあらゆる場所で人、荷物、車両のナビゲーションを可能にするAPI・SDKを企業に提供する、地図と位置情報のリーディングプラットフォームです。導入のしやすさ、拡張性の高さ、UI/UXを最大化する豊かな表現力といった特長から、400万人以上の開発者やFortune500社の40%など、国内外で多くの企業がMapboxのデータ、SDK、APIを利用しています。

マップボックス・ジャパン合同会社概要

本社東京都港区ノ門1-10-5WeWork内 - 設立2020年3月10日

ピーター・シロタ（最高経営責任者CEO）

事業内容:

1. Mapbox Inc. の製品・サービスの日本顧客への再販事業
2. Mapbox の製品をカスタマイズ及び機能拡張した地図関連のプラットフォーム事業

URL: <https://www.mapbox.jp>